

事務事業評価表 平成22年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実
 施策 市民スポーツ活動の充実
 基本事業 スポーツ・レクリエーション機会の充実

事業名 **スポーツ大会等振興補助事業**

[5240]

部名	教育部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	対象
課名	生涯学習課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 財団法人江別市スポーツ振興財団
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 健康づくりに興味・関心を持ち、大会参加を視野に入れたスポーツ活動を日常的に継続できる習慣を身につけ、生涯スポーツの基盤を構築する。
	(事務事業の内容、やり方、手段) スポーツ振興財団に対し、原始林クロスカントリー大会や、ななかまど杯北海道小学生バレーボール大会などのスポーツ大会等振興事業を企画・実施するために必要な経費として補助する。
	手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	対象団体数	団体	1	1	1	1
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	38,825	38,808	38,833	39,487
活動指標2						
成果指標1	参加者数	人	8,971	8,099	7,261	8,500
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	38,825	38,808	38,833	39,487
正職員人件費 (B)		千円	837	836	830	833
総事業費 (A) + (B)		千円	39,662	39,644	39,663	40,320

費用内訳	
21年度	負担金 補助及び交付金 38,833千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始 背景		事業を 取り巻く 環境変化	
------------	--	---------------------	--

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
妥当である
妥当性が低い

理由・
根拠は？

補助によって、市民が参加するスポーツ大会を開催するほか、市民に対してスポーツに関する健康相談も行っており、市民の健康の維持・増進につながっていることから、妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
貢献度ふつう
貢献度小さい
基礎的事務事業

理由・
根拠は？

スポーツ大会事業やスポーツ指導者養成事業のほか、健康・体力づくり指導相談事業など、広く市民がスポーツに関心を持ち、親しむ機会を提供している。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由は何ですか？

あがっている
どちらかといえばあがっている
あがらない

理由・
根拠は？

各スポーツ大会の開催では、例年多くの市民の参加を得ており、また、健康・体力づくり指導相談事業も市民需要が大きく、成果が上がっている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
成果向上余地 中
成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

スポーツ大会の開催では、原始林クロスカントリー大会など、毎年の事業として安定した参加者数を得ており、これを維持・継続することによって、参加者数の増加が期待できる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
ない

理由・
根拠は？

スポーツ大会等振興に係る経費として、事業費から参加料を控除した額を補助しているため、削減は難しい。